

【注意事項】

R20TS1170JJ0100

Rev.1.00

2025.09.20

e² studio Code Generator プラグイン,
RL78 コード生成支援ツール Applilet3,
RL78 コード生成支援ツール AP4

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. LLVM コンパイラ使用時の注意事項**1. LLVM コンパイラ使用時の注意事項****1.1 該当製品**

- e² studio Code Generator プラグイン V2.24.0 (e² studio 2024-07) 以降
- Applilet3 for RL78 V1.24.00 以降
- AP4 for RL78 V1.22.00 以降

1.2 該当デバイス

- RL78/L13
- RL78/G12 (30 ピン)

1.3 内容

以下の周辺機能使用時、誤ったコードが生成され、割り込みが適切に発生しません。

- RL78/L13

TAU01 (INTTM01 使用) 、TAU02、TAU03 (INTTM03 使用) 、TAU04、TAU05、TAU06、TAU07、AD、RTC、12 ビット・インターバル・タイマ、KEY、UART3、TMKB20、INTP6、INTP7、コンパレータ 0、コンパレータ 1、DMA2、DMA3

- RL78/G12 (30 ピン)

12 ビット・インターバル・タイマ、TAU04、TAU05、TAU06、TAU07

1.4 発生条件

この問題は、割り込みを有効にした場合に発生します。

例えば TAU07 の場合、[タイマ・チャンネル7 カウント完了で割り込み発生 (INTTM07)] を有効時、割り込み機能が常に入らない場合があります。

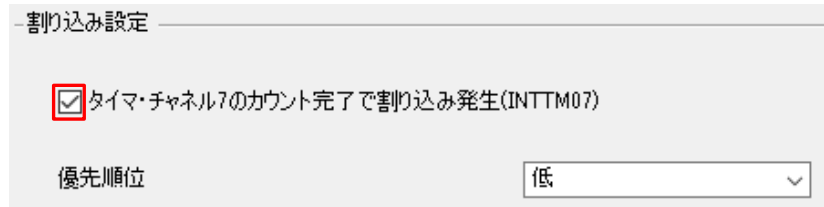


図 1-1 割り込みの有効

```

+ * Function Name: r_tau0_channel7_interrupt
- void r_tau0_channel7_interrupt(void)
{
    /* Start user code. Do not edit comment generated here */
    /* End user code. Do not edit comment generated here */
}
    
```

図 1-2 割り込み関数

1.5 回避策

ドライバ・コード生成後、以下に示す r_cg_vector_table.c の赤枠を変更してください。

➤ RL78/L13

r_cg_vector_table.c 変更前 :

```
const void *Vectors[] VECT_SECT = {
    ...
    /*
     * INT_RTIT (0x2E)
     */
    INT_RTIT,
    /*
     * INT_TM01 (0x32)
     */
    INT_TM01,
    ...
    /*
     * INT_TM07 (0x56)
     */
    INT_TM07,
    /*
     * INT_SRE3 (0x5C)
     */
    INT_SRE3,

    /*
     * INT_MD (0x5E)
     */
    INT_MD,
    /*
     * INT_FL (0x62)
     */
    INT_FL,
    ...
    /*
     * INT_DMA3 (0x66)
     */
    INT_DMA3,
    /*
     * INT_BRK_I (0x7E)
     */
    INT_BRK_I,
};
```

r_cg_vector_table.c 変更後 :

```

const void *Vectors[] VECT_SECT = {
    ...
    /*
     * INT_RTIT (0x2E)
     */
    INT_RTIT,

    /*
     * Padding for reserved interrupt source (0x30)
     */
    (void*)0xFFFF,

    /*
     * INT_TM01 (0x32)
     */
    INT_TM01,
    ...
    /*
     * INT_TM07 (0x56)
     */
    INT_TM07,

    /*
     * Padding for reserved interrupt source (0x58)
     */
    (void*)0xFFFF,

    /*
     * Padding for reserved interrupt source (0x5A)
     */
    (void*)0xFFFF,

    /*
     * INT_SRE3 (0x5C)
     */
    INT_SRE3,

    /*
     * INT_MD (0x5E)
     */
    INT_MD,

    /*
     * Padding for reserved interrupt source (0x60)
     */
    (void*)0xFFFF,

    /*
     * INT_FL (0x62)
     */
    INT_FL,
    ...
    /*
     * INT_DMA3 (0x66)
     */
    INT_DMA3,

    /*
     * Padding for reserved interrupt source (0x68)
     */
    (void*)0xFFFF,
    ...
    /*
     * Padding for reserved interrupt source (0x7C)
     */
    (void*)0xFFFF,

    /*
     * INT_BRK_I (0x7E)
     */
    INT_BRK_I,
};

```

➤ RL78/G12 (30 ピン)

r_cg_vector_table.c 変更前 :

```
const void *Vectors[] VECT_SECT = {
    ...
    /*
     * INT_AD (0x34)
     */
    INT_AD,
    /*
     * INT_IT (0x38)
     */
    INT_IT,
    ...
};
```

r_cg_vector_table.c 変更後 :

```
const void *Vectors[] VECT_SECT = {
    ...
    /*
     * INT_AD (0x34)
     */
    INT_AD,
    /*
     * Padding for reserved interrupt source (0x7C)
     */
    (void*)0xFFFF,
    /*
     * INT_IT (0x38)
     */
    INT_IT,
    ...
};
```

注意事項

- ・ ドライバ・コードを再度生成すると、生成されたコードは修正前の状態に戻ります。コードを生成するたびにドライバ・コードを修正してください。

1.6 恒久対策

次のバージョンで修正予定です。(2025年12月リリース予定)

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Sep.20.25	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。